

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



5月のアルミ概況及び6月の見通し (3)

予想レンジ

LME現物後場買い	2,700-3,100ドル	●
スクラップ	-10円~据え置き	●
	(前月最終価格より)	
為替	126-135円	円安
	(1か月間TTM)	

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると4月の自動車生産台数は前年比-19.3%の54万8,251台。輸出は前年同月比12.9%減の29万940台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると5月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-16.7%の16万1,354台。

内訳は、乗用車が-17.8%、貨物が-10%、バスは-33.9%。

【住宅着工戸数】

4月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比2.2%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比4.7%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は 76,179 戸。前年同月比 2.2%増、14か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は 6,125千㎡。前年同月比1.0%増、13か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では 883千戸。前月比 4.7%減、3か月ぶりの減少。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.5%の16万3,348 tで6か月ぶりマイナス。

板類は、10万6,217 tの+0.1%で6か月連続プラス。

押出類は、5万8,131 tの-4.4%で2か月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は-10.4%の6万3,663 tで8か月連続マイナス。

出荷は-13%の6万1,659 tで8か月連続マイナス。

サプライチェーンの寸断による自動車の減産影響が長引いている。自動車の生産回復が待たれるところだが現状、まだ楽観視できない状況。

【輸出】

新地金は、+39%の125 t、2次合金は-76%の1,638 t、スクラップは-216%の2万5,438 t、アルミ缶が-233%の7,128 t。

【輸入】

新地金は-0.7%の11万8,289 t、2次合金は-19.4%の7万8,860 t、スクラップは+39.5%の721 t、合金スクラップ

は+69%の6,443 t。

【見通し】

【自動車】

4月の自動車生産が-19.3%。5月国内販売台数が前年比-16.7%。5か月連続生産、販売共に大幅減少。上海のロックダウンによる半導体以外の中国からの部品供給の遅れとのこと6月から解除されるため挽回生産に期待。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.5%の16万3,348 tで6か月ぶりマイナス。コロナによる巣篭り需要で今後プラスに続くかの動向に注視。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は-10.4%の6万3,663 tで8か月連続マイナス。

出荷は-13%の6万1,659 tで8か月連続マイナス。

サプライチェーンの寸断による自動車の減産影響が長引いている。自動車の生産回復が待たれるところだが現状、まだ楽観視できない状況。

・アルミ輸出は、自動車生産の減少や円安を受けてスクラップが増加。

・アルミ輸入は、自動車生産減の中バックオーダー向けの生産から合金スクラップが増加。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は露ウ情勢の停戦期待-アルミの供給緩和観測を受けてLME価格が3,000-2,700ドルと下落したが自動車生産減から売りにくく、さりとて入荷も少なそう。

需要面に関しては露ウ情勢や上海のロックダウン解除にサプライチェーン回復から自動車向けスクラップは回復しそう。

上物に関しては巣篭り需要一服から需給が緩みそう。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米国の金融政策 ②中国の動向(ロックダウン解除後の)

①に関しては、5月3-4日の連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨で、「大半の参加者」が6月と7月の会合でそれぞれ0.50%ポイントの追加利上げを行うことが「適切となる可能性が高い」との見解を示したこと、現在のインフレ率がFRB目標の2%の3倍超で推移していること5月の雇用統計が予想上回る39万人増だったことから6月の利上げは予定通り行われるとの予想から上昇が抑制されるのではないかと。

②に関しては、6月1日にロックダウンが解除され多大な影響を受けていた中国経済、欧米日の自動車メーカーが挽回生産に向けて動き出すとの予想から需給は引き締まるのではないかと。

これらを踏まえた3月のアルミ価格は2,700-3,100ドル(セツル)との予想。

ドル円値は126円~135円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては-10円から据え置き程度と予想している。

(「5月のアルミ概況及び6月の見通し」おわり)